

2025 年夏 SAP/FL 現地派遣プログラム

Q & A

I. 応募・選考

Q1. どのプログラムに応募しようか迷っています。各プログラムについて詳しく知りたいです。

4月30日（水）18：30～20：20 にプログラム説明会をオンラインにて開催します。ぜひご参加ください。

Q2. プログラム説明会に参加できませんが、応募はできますか？

説明会へ参加できない場合も応募可能です。各プログラムの概要や応募方法に関しては説明動画を視聴することができますので、説明会終了後にグローバルラーニングセンターウェブサイトからご覧ください。その上で、募集要項、Q&A、シラバスをよく読み、応募書類を準備してください。

Q3. 必要書類の一部を期日までに提出することができません。どうすればよいですか？

期日までに全ての応募書類を提出することができない場合は、理由にかかわらず応募することはできません。つまり、選考の対象外となります。

Q4. 選考基準を教えてください。

選考は、書類選考を基本として行われます。書類選考のみで判断できない応募者に限り、面談を実施する可能性があります。応募書類に不備がある場合は選考対象外となります。選考結果の理由の開示は行いません。

Q5. 応募用紙を作成する際に、アドバイスや添削などはしてもらえますか？

応募用紙の論述内容は審査に関わる内容のため、公平性を期するためにアドバイスや添削指導等はい行いません。

Q6. 大学院学生、外国人留学生（非正規生を除く）は応募できますか？

どのプログラムにも応募はできますが、選考では学部学生が優先されます。また、航空券や滞在費等の参加費用に加え、大学院学生がプログラムに参加する場合、受講料は全額自己負担となります。

※奨学金の詳しい支給基準については、別紙「奨学金について」を確認してください。

Q7. 非正規生とは何ですか？

非正規生とは、交換留学生のように、東北大学での学位取得を目的とせず、授業科目の履修や聴講、研究の目的で一定の期間のみ本学へ所属している学生を指します。非正規生は、本プログラムに応募することができません。

Q8. 過去に短期海外研修プログラムに参加しましたが、再度応募することはできますか？

過去に現地派遣プログラムに参加経験があっても、過去の参加プログラムと同じプログラムでなければ応募することができます。ただし、SAP/FL の選考の際は初めてそのプログラムへ参加する学部学生が優先されます。

Q9. 応募の際に文系・理系の制限はありますか？

今回募集するプログラムについてはありませんが、内容により専門的な知識があった方が受講しやすいプログラムもあります。詳しくは、各プログラムの詳細を確認してください。プログラムによっては、事前に調査課題等が出される可能性があります。

Q10. 興味のあるプログラムが 1 つしかない場合も、複数の希望プログラムを記入する必要がありますか？

希望先が 1 つの場合、不合格となりプログラムに参加できない可能性があるため、少なくとも第 2 希望まで記入することを推奨します。ただし、原則として募集締切後の辞退は認められないため、応募前に各プログラムの日程をよく確認し確実に参加できるプログラムのみ記入してください。なお、所属学部等の追試験・再試験期間と重なっている場合は応募できません。

Q11. 海外旅行保険に加入する必要はありますか？

参加が決定した方は、東北大学指定の海外旅行保険である「付帯海学」に必ず加入していただきます。加入方法は参加決定後に案内します。

II. 費用

Q1. 参加者が支払う費用とは何ですか？

参加者は、受講料^{※1}、往復の航空券、空港からの送迎を含む現地での交通費、出国・入国にかかる費用、食費、宿泊費、海外旅行保険料、旅券代、ビザまたは滞在許可取得料（該当プログラムのみ）等を自己負担する必要があります。プログラム毎の参加費用の目安は、各プログラムの詳細を確認してください。

※1 学部生であれば派遣先大学での受講料の一部を参加学生が負担し、残りは東北大学が負担します。ただし、大学院学生がプログラムに参加する場合は、受講料は全額自己負担となります。

Q2. 参加費用の支払い方法や支払い期限は、いつごろ通知されますか？

支払い方法や期限についてはプログラムにより異なりますので、詳細決定後、Google Classroom またはメールでお知らせします。

III. ホームステイ・現地での生活

Q1. ホームステイをするプログラムでは、どのような家庭に滞在することになりますか？

ホストファミリーは、各家庭がそれぞれ違った特徴を持ち、人種・家族構成、家庭状況などは千差万別です。ホームステイ先によっては、日本または日本以外の国からの留学生が滞在している家庭もあり、家庭内で多文化コミュニケーションにふれる機会があるかもしれません。プログラムによっては、派遣先の大学やホームステイエージェントへ提出する申込書にホストファミリーの希望を書く欄がありますが、ホストファミリーとのマッチングやルームメイトの選定は、全面的に派遣先の大学またはエージェントに委ねられます。ホストファミリーの文化・生活習慣・規則は家庭ごとに異なり、ホストファミリーの背景（人種・宗教・職業・食生活・家族構成など）を理由とした変更はできません。また、ホームステイ先は郊外にあることが多く、通学に片道 1 時間 30 分程度かかる場合があります。参加者によって通学時間に差が生じることもありますが、これを理由としたホームステイ先の変更はできません。なお、ホームステイ先から大学までの通学費用は参加学生の自己負担となります。

Q2. ホームステイ以外の滞在形態にはどのようなものがありますか？

ホームステイ以外の滞在形態は、ホテルや学生寮等があります。滞在形態については、各プログラムの詳細より確認してください。2 人部屋に滞在する場合のルームメイトのマッチングについての要望を受け付けることはできません。

Q3. 滞在中にトラブルがおきた場合はどうすればよいでしょうか？

ホームステイ先でのトラブルについては、派遣先大学のホームステイオフィスやホームステイエージェントへ相談してください。また、滞在中に起こりうるトラブルに関しては、学内での事前研修で危機管理オリエンテーションを行います。24 時間連絡可能な緊急連絡先も提供されます。

Q4. 病気や怪我をした時の医療費が心配です。

本プログラムの全参加者は、大学が指定する海外旅行保険である「付帯海学」への加入が義務付けられます。加入保険会社と提携する医療機関で治療を受ける場合は、キャッシュレス（医療機関から保険会社に直接請求するため、患者はその場で支払う必要がない）で受診することができます。また、提携する医療機関が近隣にない場合は、まずは自己負担し、後日請求※することができます。詳しくは、事前研修の際に説明します。

※付帯海学による補償の範囲内での請求

Q5. 初めて海外へ行くので現地のことや持ち物などわからないことばかりです。

参加が決まったら、各自インターネットや旅行ガイドブック等で現地情報や持ち物等について調べましょう。また、事前研修の一環として事前調査活動も行うことになります。自分で調べて情報を得るということは、今回に限らず海外へ行く上で必須です。海外研修に「連れて行ってもらう」のではなく、「自分で行く」という意識を持ってください。

危機管理情報や参加プログラムに関する情報は、プログラム担当教職員等より随時提供されますので、よく読み、理解するようにしてください。

IV. プログラムの途中変更やキャンセル

Q1. 参加プログラムの変更はできますか？

応募期間内であれば可能です。ただし、一度提出された応募書類を差替えることはできませんので、参加希望プログラムを変更したい場合は、留学生課（sap@grp.tohoku.ac.jp）にメールで連絡をしてください。なお、応募期間終了後は参加希望プログラムの変更ができませんので、提出前に参加希望プログラムの記入に誤りが無いかよく確認してください。

Q2. 応募後のキャンセルはできますか？

募集締切後の辞退は原則として認められません。各プログラムの日程をよく確認し、確実に参加できるプログラムにのみ応募するようにしてください。所属学部等の追試験・再試験期間と重なっている場合は、応募できません。

合格発表後、病気や事故などのやむを得ない事情で参加を辞退する場合であっても、旅行代金のキャンセル費用等（学生負担）の支払いが必要となります。

Q3. 途中参加、途中帰国、現地研修終了後の個人旅行（日本帰国前）はできますか？

できません。日本出発から日本帰国までは団体渡航です。追試験や再試験による途中参加・帰国も認められませんので、必ず事前に試験日程を確認してください。また、プログラム期間中、所定の滞在先以外での宿泊（外泊）および滞在国外への渡航は認められません。

Q4. プログラムが中止となることはありますか。

テロや天災、コロナウイルス等の感染拡大等、不測の事態が発生した場合には、大学の判断でプログラムの実施を中止・中断することがあります。その際にキャンセル料金等（航空券や宿泊費用など）が発生する場合には、参加学生の自己負担となります。

V. 履修登録、事前・事後研修

Q1. 必ず履修登録をしなければなりませんか？登録はどのように行いますか？

成績評価を伴う全学教育科目「海外短期研修（基礎 B または展開 B）」の履修を原則とします。履修登録は留学生課が行いますので、個人で登録手続きをする必要はありません。履修可能単位数の制限などの理由により履修ができない参加者は、自由聴講科目として履修することとなります（履修制限や単位上限に関しては、自身の所属部局に確認してください）。なお、履修登録ができない場合でも本プログラムへの参加は可能です。

Q2. どうしても事前研修や事後研修に参加できない場合はどうすればよいですか？

本プログラム参加の条件として、すべての事前研修、事後研修への積極的な参加が義務づけられていますが、やむを得ない理由（大学の授業や試験等）により欠席や遅刻する場合は、事前にプログラム担当教員に連絡し、欠席・遅刻理由届を提出してください。その理由が正当であると認められれば、減点対象とはなりません。正当な理由として認められない欠席があった場合は、減点となるとともに、奨学金の支給対象から除外される場合や、支給後であっても返還を求められる場合がありますので注意してください。

VI. その他

Q1. 現在、治療中の症状や健康上の問題がありますが、応募できますか？

応募する前に、主治医にプログラム内容を説明して、参加することについて許可を得てください。海外滞在中は、環境の変化により、体調に影響が出る可能性がありますので、この点も主治医にしっかり相談の上参加を検討してください。

Q2. 研修先で感染症に感染した時はどのような支援が受けられますか？

現地医療機関の紹介など派遣先大学や保険会社からのサポートを受けることができます。詳細は各プログラムの事前研修の際などに担当教員に確認してください。また、帰国直前に感染症等に感染し予定通り帰国できない場合には、渡航先

国が定める手順に従って治療や隔離措置などを受けていただきます。感染者以外の参加者は予定通り帰国となりますので、派遣先大学や保険会社からのサポートを受けながら感染者のみ現地に留まることになります。

Q3. 出国や入国時に感染症等の検査で陽性が判明し、隔離施設（ホテル）などに滞在する必要が出た場合、その手配と費用は参加者の負担となりますか？

隔離施設（ホテル）の手配や費用負担は参加者が行います。

Q4. この Q&A に記載されている以外の質問がある場合はどうすればよいですか？

留学生課（sap@grp.tohoku.ac.jp）へメールで問い合わせてください。問い合わせの際は、①件名 ②氏名 ③学部・学年 ④問い合わせの内容を明記してください。